



セントシティ各テナントの取り組みをご紹介します

セントシティはSDGs達成に向けて貢献しています。

このパネルでは施設内の主なショップの取り組みをご紹介します。

無印良品

「BRING」への参加

【回収対象商品】
無印良品の繊維製品全般(下着、くつ下を除く)

衣料品
タオル
シャツ
カパー類

2010年に「FUKU-FUKUプロジェクト」としてスタートした「BRING」は、繊維製品を再生する新しい技術を中心に、衣料品の100%リサイクルをめざし発足した企業連携のプロジェクトです。回収した繊維製品は、バイオエタノールなどにリサイクルしています。

プラスチックボトルのリサイクル

【対象商品】
無印良品で販売している化粧水/乳液/導入化粧液 全シリーズの空ボトル
(対象サイズ:150ml・200ml・400ml)
自分で詰める水のボトル

プラスチックごみ削減の一環として「PET素材回収リサイクル」を行っています。回収したボトルはポリエステル原料にリサイクルすることで、プラスチックごみを削減し、石油由来原料の有効活用につなげます。

マイバッグをはじめよう。

ショッピングバッグ
2020年6月より、プラスチック製ショッピングバッグを廃止し、紙製のショッピングバッグをお選んでいます。マイバッグの種類を拡大し、マイバッグの使用を推進しています。

ベスト電器

2021年7月よりベスト電器は株式会社ヤマダデンキの店舗ブランドとなり、今後も家電販売事業を通じたSDGsの目標達成の実現に向け、環境や人にやさしい店舗づくりを推進していきます。

環境への取り組み

ヤマダホールディングスグループは脱炭素社会実現に向けて独自の環境マークを作成し資源循環社会の実現に取り組んでいます。グループにおける環境への取り組みを総称するマークとして「GREEN」の5つの文字それぞれに思いを込め、環境への取り組みを推進してまいります。

廃棄物削減と資源循環

ヤマダホールディングスグループでは、お客様から回収した使用済み家電のリユース・リサイクル、再製品化・再販する仕組みを構築し、製品ライフサイクルをグループ内で完結することで、社会全体の環境負荷低減に貢献しています。

店舗買取・回収 | リユース工場 | リサイクル工場 | 最製品化

UNIQLO

衣料支援

もう着なくなった服が、誰かの特別な一着になる

リサイクル活動によってお客様よりお預かりした服を、難民キャンプなどに寄贈しています。現地に役に立つ服を届けるためには、現地のニーズに寄り添うことがとても大切。そこで、UNHCRや世界各地のNPO・NGOと協力することによって、必要な数量や種類、配送ルートを確認して、適材適所、必要に応じた衣料支援活動を進めています。

ユニクロは、世界で一番安心して服を買うことのできるブランドへ。

ユニクロは全商品をリサイクル、リユースする取り組み「RE.UNIQLO」を進めています。お客様が不要になった服を回収し、リユースとして活用し、難民キャンプや被災地への緊急災害支援など、世界中の服を必要としている人たちに届けています。

ファーリーフリース フルジップジャケット

生地30%に、ペットボトルを再利用したリサイクルポリエステルを使用しています。

ATOMica

北九州市の個人・法人がもっと気軽に人のことを知り、出会うことの出来るきっかけを提供するコミュニティを構築するワーキングスペースです。

みんなの質問に答えてつながる

超実践型インターシップ ATOMatch everyone can do. 企業 × 学生 × ATOMica

おふくろの味 とよや

おにぎり・弁当・寿しショップとよや お持ち帰り専門店です。毎日状況に応じて作る量を変え、ロスを出さないようにして食品ロス削減に取り組んでいます。

101 SOZAI (イチマルイチ ソーザイ) 中華惣菜と弁当販売

エビチリや酢豚など定番の中華惣菜とボリュームたっぷり500円程度のお弁当が豊富に揃っている人気の中華惣菜店。毎日状況に応じて作る量を変え、ロスを出さないようにして食品ロス削減に取り組んでいます。